

地域密着型金融に関する取組み状況

平成 27 年 8 月
西中国信用金庫

当金庫は、「地域社会発展への貢献」を経営理念としており、また協同組織金融機関としての役割を果たすべく、平成 17 年 4 月より継続して地域密着型金融の推進を図り、中小企業の支援と地域経済の活性化に積極的に取り組んでいます。

今般、地域密着型金融の取組み状況を取りまとめましたので、お知らせいたします。

今後も、地域密着型金融を推進する担い手として、お取引先の事業再生や経営改善支援の強化、中小企業金融の円滑化等への取組みを積極的に推進するとともに、地域経済の活性化に寄与し、地域の再生・繁栄に貢献してまいります。

記

地域密着型金融の取組み状況

1. 地域密着型金融の取組みを推進するための態勢整備の状況
2. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮
3. 地域の面的再生への積極的な参画
4. 地域や利用者に対する積極的な情報発信
5. 中小企業に対する経営改善支援

以上

1. 地域密着型金融の取組みを推進するための態勢整備の状況

(1) 専門知識・ノウハウの蓄積及び活用を図るための人材育成・情報共有体制の構築

<p>■取組み内容</p> <p>若年層・中堅層職員を対象として、年初に「コンサルティング力」「目利き力」「交渉力」の養成を目的とした研修計画を立案し、下記講座への派遣を実施しています。</p> <ul style="list-style-type: none">○ 中国地区信用金庫協会主催 目利き研修講座、債権管理回収講座、事業所融資開拓講座、融資渉外実践講座 ライフプラン提案力強化講座○ 山口県信用金庫協会主催 渉外担当者訓練講座、融資総合判断力講座○ 金庫内研修 女性職員営業力強化研修、中堅得意先係業務研修、営業推進能力アップ研修 <p>また、若年層・中堅層職員の人材育成に向けて、お取引先企業の技術力や将来性などを的確に判断できる能力の向上及び営業推進に関する幅広い知識と能力向上を目的として、土曜日研修(自主勉強会)を定期的に企画・開催しています。</p>
<p>■成果・実績</p> <p>お取引先企業との相互信頼関係に立脚した双方向のコミュニケーションを基盤に、ニーズを的確に把握・分析し、課題解決に役立つ商品・サービスの提案、支援活動が行えるよう、職員の能力・知識の向上が図られたものと考えています。</p>
<p>■評価および今後の課題</p> <p>研修派遣職員は、研修終了後の研修報告会において受講報告を実施しており、その内容から「コンサルティング力」「目利き力」「交渉力」の重要性の認識状況と知識の習得状況が窺え、課題解決型金融の推進及び中小企業支援のための能力・知識の向上に繋がったものと評価しています。</p> <p>また、土曜日研修会(自主勉強会)には、得意先係・融資係・窓口係・預金係を主体に多くの職員が積極的に参加しており、地域密着型金融の推進に向けて取り組むよう意識付けができ、営業推進に関する幅広い知識と能力の向上に繋がったものと評価しています。</p> <p>今後も継続して、「コンサルティング力」「目利き力」「交渉力」の養成を推進し、職員全体のレベルアップを図ります。</p>

(2) 最適なソリューション提案のための態勢整備

■ 取組み内容

平成26年6月2日、お取引先企業のライフステージに応じて、最適なソリューションを提案するための「金融円滑化出口戦略マニュアル」を制定しました。同マニュアルにおいては、「経営改善期」「事業再生期」「事業整理期」の3つのライフステージについて取組方針を明確にしています。

また、同日、ライフステージ「創業期」に対する事務処理を定めた「創業マニュアル」を制定しました。

■ 成果・実績

上記マニュアルに基づき、各ライフステージに応じた最適なソリューションを提案・実行しています。

■ 評価および今後の課題

今後も、お取引先企業の経営目標や経営課題の解決に向けて、お取引先企業のライフステージ等に応じた最適なソリューションを提案していきます。

2. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

(1) 創業・新事業支援

■取組み内容
創業・新事業支援に対応するため、ニーズの発掘ときめ細やかな情報収集に努め、各種制度融資の利用等による資金面での支援を含めた金融サービスの提供を行っています。
■成果・実績
創業・新事業支援策として山口県起業化支援資金、島根県創業者支援資金、下関市起業資金、山口県新事業展開資金の制度融資を利用し、支援を行いました。
【実績】
平成26年度実績 59件 161百万円
平成27年3月末残高 498百万円
■評価および今後の課題
創業・新事業支援への取組みについては、每期着実に実績を計上しており、地域経済の活性化に貢献しているものと評価しています。
今後も、創業または新たな分野へ事業展開を考えているお客さまへの支援を継続・拡大していくために、ニーズの発掘ときめ細やかな情報収集に努めるとともに、事業計画の策定や資金面の問題等を外部機関とも連携を図りながら支援を行うなど、充実した金融サービスの提供に努めます。

(2) 「山口起業カレッジ」共催、講師派遣

■取組み内容
山口商工会議所では、起業の促進による地域経済の活性化や魅力ある街づくりを促進するため、創業支援事業の一環として、これから起業を目指す方や起業後間もない方を対象とした「起業カレッジ」を開催し、起業の実現化に向けた支援を実施しています。
当金庫では、本趣旨に鑑み、同カレッジを共催するとともに、全5回に亘る「起業塾」に当金庫職員を講師として派遣し、事業計画、資金繰り表の策定から、決算書の作成まで、個別指導による支援を実施しています。
■成果・実績
「起業塾」参加者41名、内、開業・起業者24先
開業資金融資実行 1件 8,000千円
■評価および今後の課題
「起業カレッジ」の開催により、開業・起業者は増加傾向にあり、当金庫としても、引き続き共催するとともに、積極的に支援していきます。

(3) 関係機関と連携した創業支援

■取組み内容
当金庫は、お客さまの創業支援を目的に産（事業者）・学（大学・研究機関）・官（地方自治体）・金（金融機関）が連携する宇部市及び下関市の認定創業支援事業計画における認定創業支援事業者として、それぞれ平成26年6月20日、10月31日に認定されました。 認定創業支援事業者には、当金庫のほか、商工会議所、山口銀行、西京銀行等が認定されており、山口県産業技術センター、やまぐち産業振興財団等とも連携して、きめ細やかな対応を行っています。
■成果・実績
認定創業支援事業者は、創業希望者に対し、創業に必要な経営、販路開拓、財務、人材育成等の知識の習得に向けた個別相談、創業セミナー等を実施しています。また、創業後のフォローアップ支援も実施しています。
■評価および今後の課題
下関市においては年間40先、宇部市においては年間25先の創業を目指しており、認定創業支援事業者として当金庫も積極的に支援することで、地域の活性化と雇用増加を目指します。

(4) 不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資への取組み

■取組み内容
不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資への取組みとして、スコアリングモデルを利用した簡易かつ迅速な融資商品の推進を行っています。
■成果・実績
「にしん事業者スピードローンネクスト」を主体に、不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資商品の推進を図りました。 【実績】 にしん事業者ローンネクスト 平成26年度実績 36件 134百万円 平成27年3月末残高 306百万円
■評価および今後の課題
不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資への取組みについては、每期実績を計上しており、一定の成果が上がっているものと評価しています。 今後も、不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資を継続的に推進していくとともに、企業の事業価値を見極め、経営課題を把握し、その問題を解決していく職員の目利き能力の向上に努めます。

(5)「山口県しんきん合同ビジネスフェア」の開催

■取組み内容

中小企業に対する新たなビジネスチャンスの提供と経営相談会による経営課題の解決に向けて、第8回山口県しんきん合同ビジネスフェアを山口県下3信用金庫合同で開催しました。

【開催名】第8回山口県しんきん合同ビジネスフェア2015

【開催日】平成27年5月13日(水)

【開催場所】海峡メッセ下関

【開催内容】

- 地域企業130社による企業展示コーナーへの出展
- 中国企業22社による企業展示コーナーへの出展
- バイヤー企業31社による個別商談会の実施
- 中小企業経営支援機関・団体・企業13社による経営相談会の実施
- 地元高等学校による校外学習(地元企業研究)の実施

■成果・実績

- 一般来場者数 約3,800人
- 企業展示コーナー 商談件数 230件 商談成約件数 19件(成約率8.3%)
- 個別商談会 商談件数 190件 商談成約件数 15件(成約率7.9%)
- 経営相談会 相談件数 28件
- 校外学習 参加生徒数 200人

■評価および今後の課題

参加企業を対象としたアンケートでは、大多数の方々より評価をいただき、十分な成果を上げたものと評価しています。

また、下関市「キャリア教育推進事業」に協力し、高校生による校外学習の一環として、地元企業を研究する場を提供することで、出展企業、参加生徒の双方から評価をいただくことができ、地元企業のPRにつながったものと評価しています。

3. 地域の面的再生への積極的な参画

(1) 「にししん地域応援助成金」の創設

<p>■取組み内容</p> <p>平成26年6月27日、下関市は、山口県指定の地域資源（ふぐ・垢田トマト・関門海峡・川棚温泉等）を活用した新商品・新サービスの開発等に取り組む市内の中小企業者に対して、商品開発や販路開拓等を一貫して支援する「下関市地域資源活用促進事業」を創設しました。</p> <p>当金庫は、本事業の取組みに賛同し、当金庫独自の支援メニューを作成して、認定事業者に対して支援を実施しています。</p> <p>【当金庫の支援メニュー】</p> <p>①「にししん地域応援助成金」の交付 助成額：1事業あたり20万円を上限</p> <p>②山口県しんきん合同ビジネスフェアに無料で出展を支援</p>
<p>■成果・実績</p> <p>下関市は、平成26年9月12日、「下関市地域資源活用促進事業」への応募事業者から、5社を認定し、1事業あたり50万円の補助金を交付することとしています。</p> <p>当金庫は、認定事業者5社を「にししん地域応援助成金」対象者として支援表明し、1事業あたり20万円の助成金を交付することとしています。</p> <p>また、認定事業者5社は、平成27年5月13日開催の「山口県しんきん合同ビジネスフェア」に出展し、自社商品のPRや販路開拓に活用しました。</p>
<p>■評価および今後の課題</p> <p>下関市及び当金庫による補助金・助成金合計は1社70万円となるため、新商品開発等に係る資金面での大きな後押しとなっています。</p> <p>下関市の同事業及び当金庫の支援メニューは、平成27年度以降も継続実施の予定です。</p>

(2) 地域活性化ファンドの設立

<p>■取組み内容</p> <p>平成26年5月30日、山口銀行、大和証券グループ本社、地域経済活性化支援機構100%出資会社のREVICキャピタル等と共同で、地域活性化ファンド「トリプルアクセル成長支援ファンド」を設立しました。</p> <p>【ファンド概要】</p> <p>ファンド総額 10億円</p> <p>存続期間 8年</p>
<p>■成果・実績</p> <p>第1号案件として、酒造会社に対して4,000万円の無担保社債引受による投資を実施しました。</p>
<p>■評価および今後の課題</p> <p>ファンド投資により同酒造会社は、一年中醸造が繰り返し可能となる設備の増強を行うことで、通年、鮮度の高い高品質な純米酒を提供することが可能となりました。</p> <p>今後も、主として山口県・広島県・福岡県の地域産業を構成する企業への成長資金や新規事業開拓資金の供給を行うことで、地域全体への経済波及効果並びに雇用増加に取り組めます。</p>

4. 地域や利用者に対する積極的な情報発信

(1) 利用者満足度向上に向けた「お客さまアンケート」の実施及び調査結果の公表（ホームページ）

<p>■取組み内容</p> <p>利用者満足度を重視した経営体制を確立するため、お客さまの意見や要望を把握し、これに適切に対応することを目的として「お客さまアンケート」を実施しました。</p> <p>【調査対象】全51店舗・6代理店</p> <p>【調査期間】平成26年11月5日（水）から平成26年11月14日（金）</p> <p>【調査方法】返送投函方式</p> <p>「窓口係が来店されたお客さまにアンケートハガキを配付しアンケートを依頼する方式」と「得意先係が窓口にも来店されるお客さまにアンケートハガキを配付しアンケートを依頼する方式」を組み合わせ実施</p> <p>【調査内容】（下記5項目について調査を実施）</p> <p>①店舗全体の雰囲気、②職員の挨拶、③窓口係の対応、④商品内容の説明</p> <p>⑤意見・要望（自由記入）</p> <p>【アンケートハガキ配付数】3,040枚</p> <p>【調査回答数】2,025名</p>
<p>■成果・実績</p> <p>各営業店が「笑顔の挨拶運動」の継続的な実施や、アンケート調査結果を踏まえた改善策を実施し、お客さま満足度（CS）の向上が図られています。</p>
<p>■評価および今後の課題</p> <p>前回のアンケート調査結果を踏まえ各営業店が改善策を実施した結果、今回のアンケート調査において9割以上のお客さまから支持を頂いていることから、お客さま満足度の向上が図られているものと評価しています。</p> <p>アンケートのその他ご意見・ご要望等につきましては、お客さま満足度向上を基本として検討していく予定です。</p>

5. 中小企業に対する経営改善支援

(1) 営業店と本部連携による経営支援

<p>■取組み内容</p> <p>平成24年5月より、経営改善の一層の促進を図ることを目的に経営改善支援部会を設置して、経営改善計画書策定後に計画書に対する進捗率が思わしくないお取引先企業に対して、関係部署（融資管理部・審査部・営業店等）において経営改善上の問題点を協議し、改善に向けたソリューションを集中的に検討・実行しています。</p> <p>平成26年度開催 8回（8社）</p>
<p>■成果・実績</p> <p>本部・営業店間で情報の共有化、経営改善目標・方針の統一化、明確化が図られました。また、経営者に対し、経営改善事項を具現化し指導することにより、経営改善のスピード化が図られています。</p>
<p>■評価および今後の課題</p> <p>お取引先企業と経営改善で向き合うことができ、中小企業再生支援協議会持込による計画策定など、お取引先企業からも一定の評価を得ていることから、成果は着実に上がっているものと評価しています。</p>